

ワンランク上の暮らしを考える人の情報紙

2015 NOV. vol.216

クラッシー

CLASSY

発行 筑後八女地区 西日本新聞エリアセンター
企画 イースタンコミュニケーションズ
印刷 株式会社 東兄弟 TEL 0943-24-2111
八女市祈禱院563 〒834-0025
HP:www.dcity-yame.com
E-mail higashikeitei@tea.ocn.ne.jp

クラッシーのバックナンバー（2010.1.1号より）がインターネットでご覧になれます。
「デジタルシティやめ」→クラッシー→検索

11 NOV

日	月	火	水	木	金	土
12	6	7	1	2	3	4
13	14	8	9	10	11	12
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
1 9月20日 仏滅 池田つた子 画業 30 年の歩み ～ 11 月 23 日 (八女市横町町家交流館)	2 21 日 大安 べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円	3 22 日 赤口 文化の日 田主丸かつぱウォーク (八女歩こう会) 良縁成就祭&秋色マルシェ恋びより 恋木神社(水田天満宮内) 渡辺美里日本全国ツアー (サザンクス筑後大ホール)	4 23 日 先勝	5 24 日 友引 弁護士無料法律相談 (福岡法務局八女支局) 要予約 ☎ 050-3383-5502	6 25 日 先負 なんでも人権相談所 (八女市役所星野支所)	7 26 日 仏滅
8 27 日 大安 八女軽トラ市9:00～12:00 (八女観光物産館駐車場) 寄席演芸 (サザンクス筑後小ホール) 古墳出土の飾り太刀 (広川町古墳公園資料館企画展・～12月6日) 奥八女黒木ハーフマラソン大会	9 28 日 赤口	10 29 日 先勝	11 30 日 友引 なんでも人権相談所 (筑後市中央公民館)	12 10月1日 仏滅	13 2 日 大安	14 3 日 赤口 緋の里巡り in 筑後 ～15日(筑後市久富、西牟田、 高江地区一帯)
15 4 日 先勝 健康と食育の祭典 (サザンクス筑後)	16 5 日 友引 べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円	17 6 日 先負 無料弁護士法律相談 13:30～(八女民主商工会) 要予約 ☎ 24-2727	18 7 日 仏滅	19 8 日 大安 弁護士無料法律相談 (福岡法務局八女支局) 要予約 ☎ 050-3383-5502	20 9 日 赤口 定例法律相談会(要予約) 10:00～12:00 (八女商工会議所) ☎ 22-5161	21 10 日 先勝 人生史サークル黄檗の会 (福祉会館) 道の駅たちばな大収穫祭 ～ 29 日(日)まで
22 11 日 友引 八女軽トラ市9:00～12:00 (八女観光物産館駐車場) 清水山もみじウォーク (八女歩こう会) スガダイロージャズコンサート (サザンクス筑後大ホール) 石人山古墳シンポジウム (広川町古墳公園資料館) 筑後七国まかない飯グランプリ (筑後広域公園)	23 小雪 先負 勤労感謝の日 八女グリーンクラブ 30周年記念コンサート (おりなす八女) 里山コンサート 2015 (笠原東交流センター「えがおの森」)	24 13 日 仏滅	25 14 日 大安	26 15 日 赤口 お風呂の日(特典あります) (グリーンピア八女)(公園の宿) (温泉館きらら)(べんがら村)	27 16 日 先勝	28 17 日 友引 ミニ健康教室 (14:00～15:00) 認知症ってなんだろう！ 川崎病院 要予約 ☎ 23-3005 ヤンマー建機感謝祭 10:00～ (ヤンマー建機本社工場)
29 18 日 先負 環境フェスタ in ちくご (八女西部リサイクルプラザ)	30 19 日 仏滅 べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円	心配ごと相談(八女市) 八女市社会福祉会館 11月4日・18日 黒木町ふじの里 11月4日・18日 上陽町地域福祉センター 11月11日・25日 立花町かがやき 11月11日・25日 法律相談(要予約) 八女市社会福祉会館 11月13日 黒木町ふじの里 11月20日 上陽町地域福祉センター 11月27日		司法書士相談 黒木町ふじの里 11月13日 八女市社会福祉会館 11月20日 筑後市 心配ごと相談 毎週木曜日／総合福祉センター		筑後市立図書館11月のイベント 10月27日～11月9日は読書週間 ●おはなし会 毎週土曜日(11:00～30分程度) ●ゆっくり読書タイム(要申し込み) (11月12日(木)・9:30～15:00・筑後市立図書館) ●はなちゃんのみそ汁の著者 安武信吾氏講演会 (11月22日(日)・10:00～・サンコア)

天宮ふんぷり 132

冬の光に
移りての想い
詩人 椎窓 猛

“冬の光に移りてさすを目に見ゆる時の流れといひて寂しむ”佐藤佐太郎の一首を『句歌歳時記』編著山本健吉(冬)の巻に眼をとめながら早や寒気つる11月の暦。▼八女の里にゆかりも深きこの山本健吉資料室「開室一周年記念文学講演会」、去る九月二十六日。「父・健吉をめぐる人々を語る」のは、蟬時雨児は擔送車に迫いつけず”の絶句で知られる母は俳人石橋秀野の御令嬢石橋安見子さん。祖父忍月(文芸評論家)のゆかりも深い八女の里へ、惠贈の文献豊富な資料、早々の整備を念願力説の画家杉山洋氏の尽力も仄聞していたが、一応の整備完成。出来得れば『八女・矢部川流域文学記念館』の設立が望まれる。▼10/7、四回にわたる、久留米大学公開講座「ギターと共に楽しむ筑後の文学・椎窓猛の世界」狩野啓子教授指導のもとに、ラストは拙作『イノシシ退治は苦笑い』文芸評論界では一部評価を受けた40代の創作。このように一般の方に読みあげていた、く機会に恵まれたことは老文学青年にとって光榮至福。▼11/25、第23回福岡県文化賞贈呈式・記念イベント・創造部門受賞者は、八女剣持出身の作家安部龍太郎氏。玄海灘をこえて拡がる東洋国家一帯へ創作。「神宿る島・沖の島」を背景とする、『姫神』の演劇化、彼の視野拡大に感銘を受ける。

楽しい絵手紙



筑後市西牟田

田島 恵美子

三年ほど前、お友だちから「私絵手紙教室に行ってるけどあなたも始めたら」とおさそいを受けたので「そうね」と気楽な気持ちで参加させてもらいました。今回は庭の片隅にミョウガの花が出ていたので描いてみました。てくてく絵手紙教室は今月から大坪次太先生に変わられました。新しい先生の御指導を受けながら皆さんと仲良く頑張ります。若さを保つていくためにも…。

健康万歳 ⑩ 高齢者のクスリにはリスクが多い

老人施設に入所してくる人達の9割が多量の薬を持参している。10数剤のことも稀ではない。果たしてこれだけのクスリが必要なのかといつも疑問に思っている。高血圧、コレステロールを下げる薬、糖尿病の薬、睡眠剤・安定剤、利尿剤、便秘、鎮痛剤、骨粗鬆症のクスリ、胃腸薬、血液サラサラなど等数え上げたらきりが無い。

日本人は特にクスリ信奉者が多い。医師・製薬会社・患者それぞれの思惑が交錯して服用しているが、作用が重複しているものもあり、有害な場合だってある。薬は化合物なので長く服用すると作用も変わるし、副作用による薬原病があることも忘れてはならない。

クスリは逆からはリスクと読む。キレの良いクスリはそれだけ副作用も大きい。

特に高齢者はいろいろの科を受診する者が多い。肝臓や腎臓の機能も落ちているので、クスリの副反応はさらに増すことになる。かかりつけ医同様、クスリの管理はクスリ手帳を活用し、かかりつけの薬剤師をつくり相談する事が大切である。老人は自分ではクスリの管理は難しいので注意を要する。

今はドラッグストアで簡単に薬が買える。一寸体に変調があればクスリやサプリメントをのまない気がすまない人も多いが、場合によっては風邪薬でも重篤な副作用が起こることもある。

生活習慣病は長い間の生活習慣の乱れが原因で生じた結果なので、先ず食事、運動、睡眠、嗜好品（酒・タバコ）、ストレスなどの習慣をただすことが先決。特に最近血液検査などの標準値がコロコロと変わるので医師でさえもどれを信用していいのか解らなくなってきた。

慢性的な老人病症候群は高齢者ではあって当たり前。「自分の体調が一番正直」なもので、先ず自分の体に尋ねてみることだ。

「長生きする人はクスリを飲まない」とも言うが健康だから飲む必要もないのだろう。タバコや酒と同じようにクスリも依存性の強いシロモノだ。

林 栄一（医師・八女市立花町）

黄櫨の会
公開講座

聴講無料
どなたもお気軽に
ご来場下さい

演 題 「孔子と論語」
講 師 合原 長敏 先生（元伝習館高校校長）
日 時 11月21日（土）13:30～
場 所 八女市社会福祉会館

八女グリーンクラブ創立 30 周年記念コンサート開催

男声合唱団八女グリーンクラブは、1985 年、地元高校の同窓生を中心に 7 名の有志でスタート、クラブ名のグリーンは地元名産のお茶の緑をイメージして名づけたものです。

それから 30 年、県内でも数少ない一般市民の男声合唱ということで、県南地区の合唱祭や地元イベントへの参加、そして毎年恒例の施設慰問などの活動を続けてきました。

現在団員は八女市を中心に 20 代から 70 代まで 25 名、職業も教師・公務員・JA 職員・会社員・自営業と様々で、練習を合わせるのが大変ですが、ゆかいな指揮者の丸山誠二郎先生の指導のもと、合唱を通じた強い連帯感で、なかよく練習を重ねてきました。

創立以来 5 年毎にコンサートを開催しておりますが、今回は、お子さんからお年寄りまで、楽しんで頂けるよう、アニメソングから民謡まで、幅広く選曲して一生懸命練習に励んでおりますので、勤労感謝の日の午後、男声合唱の歌声をお楽しみください。

連絡先 八女グリーンクラブ 代表 小川 雄一郎 090-8919-6773

日 時 11 月 23 日（月・祝）午後 1 時半開場・2 時開演

会 場 おりなす八女 ハーモニーホール

入場料 大人 500 円 中学生以下無料

団員も随時募集しておりますので、お気軽にご連絡下さい。



25周年記念コンサート風景

こんにちは。
八女警察署です。

⑪



左から原指導員、高田指導員、下川指導員、山下指導員

八女警察署では、防犯ボランティア団体の方々と連携し各種防犯活動を行なっています。

今回はその団体の一つである八女地区防犯指導員連絡会をご紹介します。

八女警察署では、八女地区防犯指導員連絡会の方々と一緒に寸劇を活用した防犯教室やキャンペーン等を行なっています。

特に寸劇を活用した防犯教室は先生や生徒から分かりやすいと好評を得ています。

また、以前には日頃の防犯指導が功を奏し、犯人から声をかけられた子供が、犯人の車の特徴をしっかりと記憶しており、その情報が犯人検挙に結びつくという好事例もありました。

八女警察署では、八女地区防犯指導員連絡会をはじめ、その他防犯ボランティア団体の方々と協力し合い、各種犯罪の抑止・検挙のための取り組みを行っていますので、皆様方のご協力をよろしくお願い致します。

野鳥ウォッチング ⑩ ヤマセミ

ヤマセミはハトぐらいの鳥で、日本にすむカワセミの仲間では最も大きい鳥です。

巣穴は川ぞいの土の崖などに作り、山地の溪流に生息しています。「キョツ・キョツ」と、かんだかい声で水面を通りすぎて行く姿をよく見かけます。

矢部村 栗原 浩暢



眩き

おばあちゃんの
出番です

「テレビに子守をさせないで」マスコミに登場したのは、四十年前も前。私は子育て真っ最中。子どもの言葉の遅れ、思考能力の低下、自閉症の原因等々。テレビは子育ての大敵と言われた。

その弊害を気にしつつも、三人の子育てに明け暮れた日々、テレビは子どもを安心して預けられる私にとって有り難い助っ人であった。

時代は大きく変わって、「スマホに子守をさせないで」と言うのが今風らしい。

還暦を機にパソコンに挑戦した私。機械相手に及び腰。フリーズして動かない画面に向かって「動いてください」と、頭を下げるアナログ世代の私。一方、十才の孫は生まれた時からパソコンや携帯電話が身近にある生活。機械を恐れることなく、孫はいとも簡単にスマホを操る。実に楽しそうだ。

とどまる事を知らないIT技術の進化は、この先どんな世界を私たちに見せてくれるのだろう。むやみにスマホを禁止するのではなく、賢く使う術を、周りの大人は子どもに教える事が大切だ。

時は読書の秋。テレビもスマホもオフにしてとびっきり心弾むファンタジーを孫に読んであげよう。時代がどう変わるうとも、人の声が語りかける心地よさ、一冊の本を共に読むことで生まれる、人と人との暖かな心の通い合い、そこから生まれる幸せな一体感を孫に伝えたい。

アナログ時代のおばあちゃんの出番である。

夏生

今月の山柳



白雲流れる青空に真っ赤に映える紅葉。古里のこの美しい風趣を素直に絵にすることが出来たらと思う。この感動をしっかりと心のキャンバスに描いておこう。紅葉に心も染めて

八女川柳会 安達 昇 身を癒す

街かど gallery

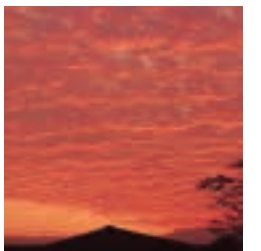


立花町山崎 山田 富紀子



今月の色

あかねいろ 茜色



茜色「あかね」の語源は山野に自生していた蔓草の赤い根。「あかねさす」といえば、日の光で赤く色づく様子の形容であり、紫にかかる枕詞にもなっています。

つるべ落しの秋の日は西の空を赤く染めて暮れる季節になると、茜の空で誓った恋を東京暮らしで忘れたか、松村和子唄う「帰ってこいよ」の力強い歌声が浮かんでくる。虫がすだいて月が冴える晩などテレビと読書では心の空虚をみたしきれず悶悶とした夜を過ごしたことがある。

白玉の歯にしみとほる秋の夜の酒は静かに飲むべかりけり(若山牧水)。酒と旅をこよなく愛した歌人はこんな夜何を考えて飲んだのだろう。ピンと張りつめた冷えた大気が人の感性を刺激するの、秋は人恋しさが募る季節である。

◆「今月の色」原稿募集。皆さんの心に残る色とそれにつながる思い出を300字以内にまとめて(株)東兄弟迄お送り下さい。住所・氏名・電話番号明記。よければ顔写真添付。

秋の電話

深町 準之助

もしもし 元氣？ 大丈夫？ 訊かれて返事も なんだか頼りない だつて 元氣つてのがどうもね よくわからないんだ どこまでが元氣で どこからが不元氣なのか こころか からだか 問題は 考えるだけだから 年を取るのだから 云つてもね …… もしもし あー 元氣だ！ 大丈夫だよ！ そう云つて ほんとうに大丈夫 (あしたは眼科か) それとも歯科か) ツバメが去つて はや 季節は秋である

八女学院中学1年 川崎琴葉さんの模写 坂本繁二郎先生の『能面と鼓の胴』



11月3日の「帰居祭」のために、今年も画塾にポスターに使う坂本先生の絵の模写画の依頼があり、6月から8

月までかかってこの作品ができあがりました。

坂本先生 80歳のとき(昭和27年)の油彩画「能面と鼓の胴」(F10号)の部分模写です。原画は坂本先生の能面シリーズの最後のころの最も優れた作品といわれています。クレパスでの模写です。重ねたクレパスをナイフで削り、さらに色を重ねると想定外の色が出現します。

その美を、読書・演劇好きの琴葉さんは、充分感得してくれたと思っています。

杉山絵の教室 杉山 亜土



矢部川源流・杣の里の四季 ④9 スズムシバナ(鈴虫花) [キツネノマゴ科]

矢部村では9月、林の木陰に咲いている。午後になると花が萎むので午前中でないと開花した花を見ることが出来ない。和名はスズムシが鳴きはじめる頃に咲くということからきている。春に咲くラン科のスズムシソウは別種。(黒木町) 松尾 重根



阿蘇山の噴火に遭遇！ 2015/09/14

一度はやってみたいと思っていた事がある。それは一日で朝日と夕日を体験する事です。今日は絶好のチャンス、早朝3時に阿蘇の俵山(1094m)を目指してスタートした。

午前6時撮影ポイントの俵山峠展望台で、朝焼けが始まったが日の出の瞬間は雲の中に隠れて撮影できなかった。

登山は一本道でぐんぐん登ると左手に阿蘇方面が広がり、野の花を楽しみながら約2時間で山頂着となった。

到着と同時に誰かが叫んだ。「阿蘇山が爆発したぞ〜!!」午前9時43分噴煙は2000mまで上昇し緊張が走る。これだけの噴火は94年以来で降灰は60キロ離れた筑後市でも観測されたそう。その後噴火は治まり安全を確認して下山となった。

下山後は車で西へ80km移動し玉名市の小岱山(501m)に1時間で再登頂、6時20分有明海に沈む、真っ赤な夕日を撮影して帰路についた。

「地球は動いている、阿蘇山は生きている」と実感する“長〜い一日”が終わった。 八女文化連盟写真部 樋口 清人



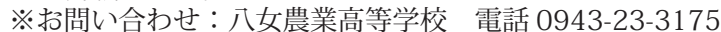
第4回

お茶の花

お茶の種

お茶の種をまく

福岡県農林総合試験場八女分場長 仁田原 寿一



郷土料理研究家 樋口 愛子（八女市）

日時 11月18日(水)
開演 19時
(開場18時30分)
会場 おりなす八女